

「小諸市議会に関する市民意識調査」

の定数・報酬に関する結果考察

小諸市議会議員定数及び報酬等検討委員会

1. 背景・目的

小諸市議会では、小諸市議会基本条例に則り議員定数・報酬について見直しを検討し、令和5年1月の次期市議会議員選挙の1年前にはその結果を公表することとしています。

令和2年度の「中間報告」に足りない項目として「市民の意見」が必要不可欠でした。（コロナ禍により議会と語る会が中止）

今年度も同様にコロナ禍で議会と語る会は中止となり、その代替え対応として「小諸市議会に関する市民意識調査」（以下「アンケート」という）を実施し、基本条例で定めてある「市民の声」を反映して結論を出すこととしました。

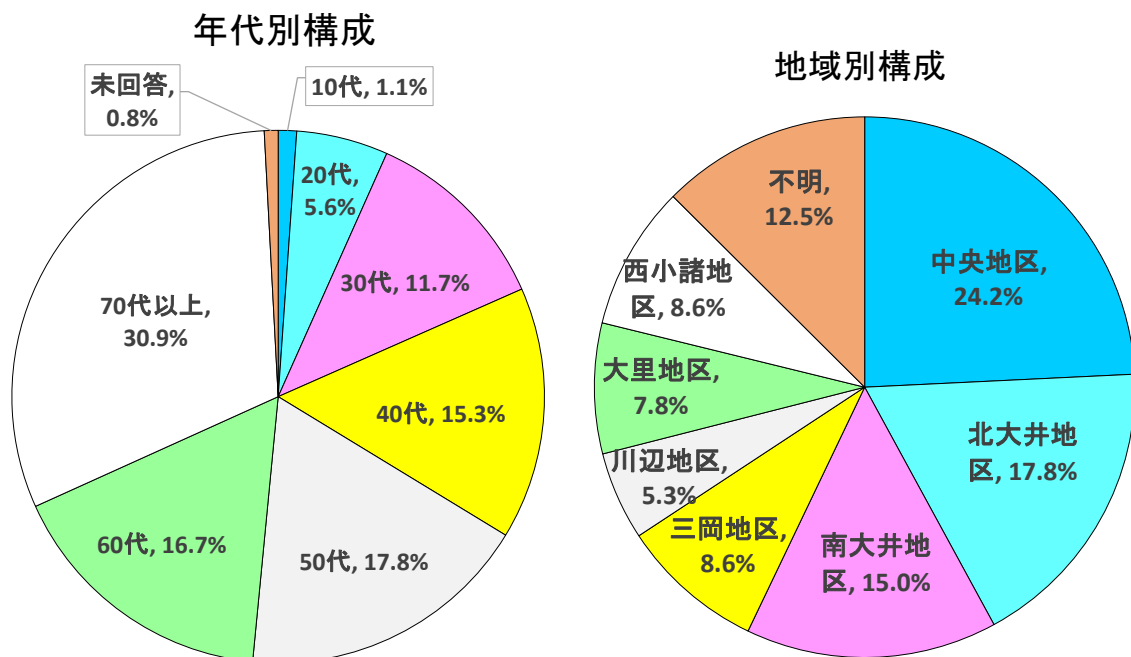
2. 令和3年度 アンケート結果と分析

【対象】18歳以上約31,000人のうち無作為抽出の1,500人

【回答者数】359人、回収率23.9%

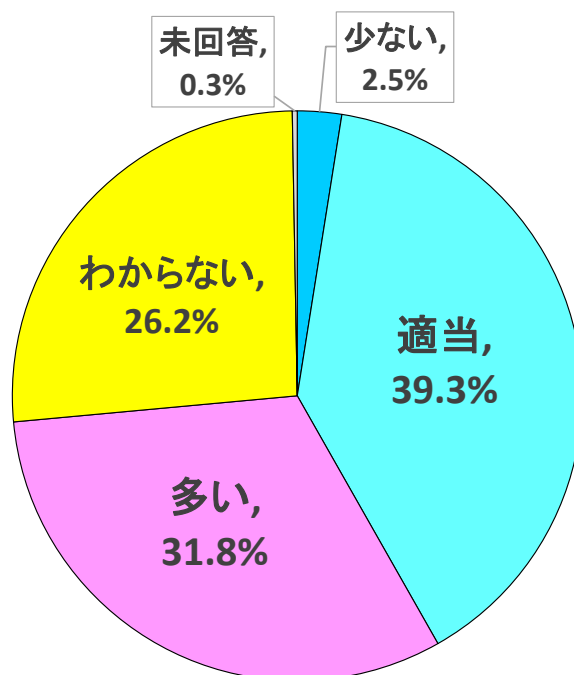
当委員会では、13回にわたり委員会を開催し、中間報告書の再確認や、アンケートの実施方法・内容の検討、結果のとりまとめと分析等を行いました。

・ 回答者層別



① 議員定数について

「議員定数=19人」の評価

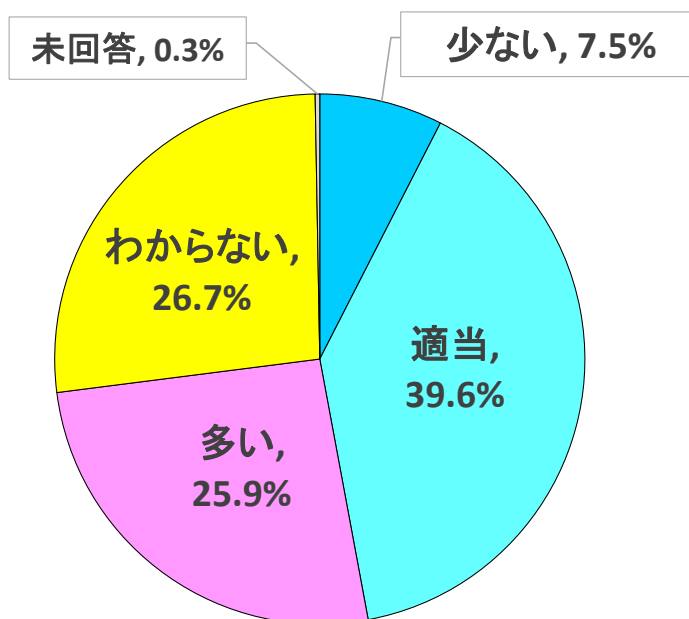


考察

- 現在の議員定数に対し、「少ない」「適当」という回答は合計 41.8%で、『定数は減らすべきではない』という声と考えられます。
自由記載の意見では、
「これ以上減らしたら議会は成り立つのか」
「少なすぎるといろいろな意見が出ない」
「住民の意見を代表するには最低限の定数である」
「民意の反映、委員会等の機能の低下が心配」
などがありました。
- 「多い」という回答は 31.8%で、『定数は減らすべき』という声と考えられます。
自由記載の意見では
「議員の活動が目に見えない」
「定数が多いので選挙にならない」
「大した仕事をしていないように思う」
などがありました。
- 「わからない」「未回答」は合計で 26.5%でした。
自由記載の意見では
「状況が把握できていない」
「業務量がわからない」
「他市との比較だけではわからない」
などがありました。

② 報酬について

「議員報酬＝33.3万円/月」の評価



考察

- 現在の議員報酬に対し、「少ない」「適当」という回答は合計 47.1%で、『報酬は減らすべきではない』という声と考えられます。
自由記載の意見では、
「報酬に見合った成果を出してもらえればいくら高くても良い」
「ちゃんと役に立っているなら適当」
「50万円くらいにして優秀な人材になってもらう」
などがありました。
- 「多い」という回答は 25.9%で、『報酬は減らすべき』という声と考えられます。
自由記載の意見では
「報酬にあった活動をしているのか」
「議員とはボランティア精神で行うものと思う」
「他市議会と比較する必要はない」
などがありました。
- 「わからない」「未回答」は合計で 27.0%でした。
自由記載の意見では
「実際にどのような働き方をされているのか相応なのかわかりません」
「業務内容労働時間等わからないので妥当かどうか評価できない」
「議員としての仕事・役割が不透明で業務量として評価できない」
などがありました。

3. あとがき

小諸市議会議員の「議員定数・報酬」については、小諸市議会基本条例で「議会機能及び市の政策課題、将来都市像、人口動態、財政力、類似団体との比較等を十分に検討し、かつ市民の意見を考慮して決定するものとする。」とされていることからアンケートを実施いたしました。

「小諸市議会議員定数及び報酬等検討委員会」では、令和2年度の間接報告で「議員定数・報酬とも現状維持」の方向性を出していることと、今回のアンケートで議員定数・報酬ともに「減らすべきではない」、という市民の皆さまの意見が「減らすべき」という意見を上回っていたことから、最終的に『議員定数・報酬は現状維持』が妥当だという結果となりました。

また、今回のアンケートでは、「議会と語る会」だけでは得られない、地域別・年代別・職業別的に幅広い意見を数多く得ることができました。

アンケートに協力して頂いた皆さまに感謝を申し上げますとともに、今回の結論に対して市民の皆さまのご理解をお願いいたします。